

令和7年度古賀市立歴史資料館企画展
戦後80年特集



戦争とくらし

～「青柳村役場兵事関係資料」を中心に～



▲在郷軍人名簿

▲青柳村役場兵事業績綴



▲軍服（陸軍）



▲甲弾箱



▲防空頭巾の姉妹と桜



▲家族写真(個人所蔵)



▲青柳村役場

2025年7月19日[土]～9月7日[日]
リーパスプラザこが 歴史資料館ギャラリー

開館時間：10:00～18:00
休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
観覧料：無料



古賀市立歴史資料館

〒811-3103 福岡県古賀市中央2丁目13-1 TEL: 092-944-6214
※企画展準備・撤収作業のため、7/15(火)～18(金)、9/9(火)、9/10(水)は臨時休館

市HP



戦争とくらし

～「青柳村役場兵事関係資料」を中心に～

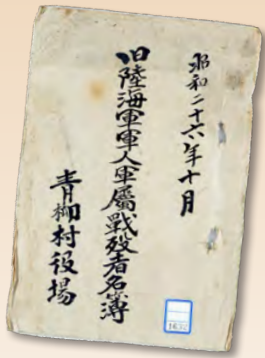
今年は戦後80年を迎える節目の年になります。薄れつつある戦争の記憶を継承し、平和について考え続けることが大切です。

古賀市立歴史資料館では、戦後75年の令和2年度に、企画展「戦争とくらし～庶民からみた戦争～」を開催し、令和3年度からは企画展の内容を活かした特集展示を開催するなど、戦争の記憶の継承を目指してきました。

戦時中の生活を知る資料としてこれまでも利用してきた「青柳村役場兵事関係資料」が、令和7年6月27日に「古賀市指定有形文化財」になりました。一般に、市町村等の行政文書の中で「兵事関係資料」は、敗戦時に軍などから焼却命令が出されたため、ほとんど残っていません。奇跡的に残っていた資料は、当時の行政の有り様を知ることができる貴重な一次資料です。

今回の企画展では、「青柳村役場兵事関係資料」を中心に、寄贈していただいた当時の貴重な資料などを展示します。

みなさまの平和について考えていただく新たな機会になれば幸いです。



関連イベント

01 自然史・歴史講座（講演会）

戦争を記憶する

～福岡県の戦争遺跡 その保存と活用～

福岡県内に残る戦争遺跡について、戦争遺跡を研究されている九州歴史資料館の森井啓次さんにお話しいただきます。

8月10日(日) 14:00～16:00 (開場 13:30)

【会場】リーバスプラザこが 多目的ホール
【講師】森井 啓次さん(九州歴史資料館 企画主幹)
【定員】100人

森井啓次さんのプロフィール

九州大学文学部卒業後、福岡県教育庁文化課に入庁。九州国立博物館、福岡県総合政策課世界遺産登録推進室等を経て、2024年から現職。



02 朗読

朗読



－ 戦時下、父子の往復書簡 －

福岡市津屋崎を拠点に活動されている「つばめの記」をお招きし、戦地に赴いた息子と、故郷で待つ父親とで交わされた往復書簡の一部を朗読していただきます。

8月23日(土) 14:00～15:00 (開場 13:30)

【会場】リーバスプラザこが 図書館2階 中会議室
【定員】60人

「つばめの記」について

福岡県福岡市津屋崎を拠点に、当家に残されていた戦時下の父子の往復書簡・戦争体験記・関連資料などをもとに、太平洋戦争の記録や家族史を辿っています。また、それらを遺族として展示や朗読で紹介する活動をしています。



WEB サイト

※どちらも 申込不要・入場無料・高齢者外出促進事業 です

古賀市立歴史資料館

〒811-3103
福岡県古賀市中央2丁目13-1
TEL：092-944-6214
開館時間：10:00～18:00
休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
入館料：無料



市HP



YouTube



Instagram



【交通アクセス】

- ・JR古賀駅東口より徒歩7分
- ・西鉄バス「リーバスプラザこが前」バス停より徒歩1分
- ・九州自動車道古賀インターより車で約5分

※企画展準備・撤収作業のため、7/15(火)～18(金)、9/9(火)、9/10(水)は臨時休館